

“夏の足工” 伝統校のプライドを胸に

ASHIKAGA TECHNICAL High School Baseball Club News

SEP 2016 Vol. 6

新チームで迎えた秋季県大会では、たくさんの応援を頂きありがとうございました。

新チーム結成後は、この大会を勝ち抜くことを目標に練習してきました。そして迎えた初戦は、黒羽高校を相手に2対1。大会初戦による硬さだけでなく、特に攻撃面においては練習試合でも出たミスを繰り返すなど、本番だけは上手くやろうといった考えは甘いことを実感しました。それでも最終回のピンチを凌いで勝利は立派であり、相手の黒羽高校は、昨年夏の大会で敗れたチームだけに、その借りを、このチームで返せたことを嬉しく思います。

しかし、続く白鷗大足利との一戦は1対7での敗戦。前年優勝のシード校を相手にも選手は臆することなく勝負を挑みましたが、まだ力が足りないと感じました。この大会を勝ち上がるために猛暑も乗り越え、努力してきただけに悔しい思いをしています。ただ、それでも立ち止まっている時間はありません。次なる目標に向けて再スタートを切るには、この結果を現地点の力と潔く認める必要があります。シード校の牙城を崩すのは簡単なことでなく、この壁を突き破るためには普段の生活から、もう一度見つめ直す必要性を感じています。勝つためには確固たるチーム力が必要です。この悔しさを忘れず“良いチーム”“勝てるチーム”となれるようチーム一丸となって努力していく所存です。

そして、次なる目標は市内大会での優勝となります。今回の市内大会も、白鷗大足利が関東大会出場を果たしたこと、意地と意地のぶつかり合う、ハイレベルな戦いが繰り広げられるのは間違いありません。秋季県大会の悔しさを晴らすためにも部員一同、努力したいと思います。メンバー争いも白紙からのスタートとなります。懸命にプレーする選手に引き続き、温かいご声援をお願いします。

また、10月は1年生大会も実施されます。本校の初戦は15日となり、この時期の大会経験は貴重な財産となるはずです。1年生チームの元気溢れるプレーをご覧ください。さらに、秋季関東大会の観戦も予定しています。各県を勝ち抜いたチームが、甲子園出場を懸けてどんな戦いを演じるかを目の当たりにすることは、足工野球部にとっても、それが取り組みの1つの基準となることを期待しています。今後も本校野球部の活動に変わらぬご理解、ご協力をお願いします。

